

学会彙報

二〇〇九年度講義題目

大学院

第三十四回 山口大学人文学部国語国文学会研究発表会

二〇〇九年五月十日(日)

「切れる」と「キレる」について

— マインドマップ調査 —

李 曉 娜

「鬼」のイメージと比喩表現について

— アンケート調査の分析 —

佐々木 翔太郎

鷺流狂言台本諸本における言語的様相をめぐって

— 鷺流狂言における種々の語の用法、固定・伝承の様相を中心に —

高村 正 人

『大経師昔暦』における近松の方法

万葉集第十三・三三三三六番歌「所宿有人者」の訓読をめぐって

相 良 和 菜

日本語と中国語のあいさつ表現について

— 外国人研究者の特別授業より —

曲 志強・林 伸一

オンライン日本語学習辞典「Japanese Learner's Dictionary」開発の試み

今 井 新 悟

第二十四回 山口大学人文学部国語国文学会研究懇話会

二〇〇九年十一月二十一日(土)

村上春樹『1Q84』を読む

平 野 芳 信

日本語論 I

林 伸一

日本語論 II

磯 部 佳 宏

日本語論 I

添 田 建 治 郎

日本語論演習

林 伸 一

日本語論演習

磯 部 佳 宏

日本文学論 I

森 野 正 弘

日本文学論 I

尾 崎 千 佳

日本文学論 I

小 野 美 典

日本文学論 II

平 野 芳 信

日本文学論演習

中 原 豊

日本文学論演習

平 野 芳 信

日本文学論演習

森 野 正 弘

日本文学論演習

尾 崎 千 佳

学 部

日本語学 I (統語論・意味論、日本語音声学の基礎)

林 伸 一

日本語学 II (日本語の特徴)

前 田 桂 子

日本語史 (文法史、語彙史)

磯 部 佳 宏

日本語学特殊講義 (構成的グループ・エンカウンター)

林 伸 一

日本語学特殊講義 (文法論と文法学史)

磯 部 佳 宏

日本語学特殊講義 (日本語のアクセント)

添 田 建 治 郎

日本語学講読（日本語教育、異文化コミュニケーション）

日本文学演習（卒業論文演習）

尾崎千佳

日本語学講読（古文の文法）

磯部佳宏

二〇〇九年度卒業論文題目

日本語学講読（現代日本語の文法）

吹屋葉子

日本語文化論コース

日本語学演習（卒業論文演習）

林伸一

指導教員 林伸一

日本語学演習（中古仮名文学・中世日記文学の語法・語彙）

磯部佳宏

擬音語・擬態語の「音」に対する印象

日本語学演習（卒業論文演習）

磯部佳宏

— 音象徴の妥当性をめぐって —

日本文学史Ⅲ（近世文学の諸相とその展開）

尾崎千佳

中国語母語話者の日本語の誤用例と誤用分析

北川愛

日本文学史Ⅳ（近世文学の諸相とその展開）

尾崎千佳

人の心をつかむ言語表現について

島田かおり

日本文学概論（日本文学の起源）

平野芳信

— 2007年から2008年のキャッチコピーを用いての考察 —

日本文学特殊講義（村上春樹）

平野芳信

大学生のための構成的グループ・エンカウターの実践

日本文学特殊講義（『源氏物語』）

森野正弘

日高莉沙

日本文学特殊講義（西山宗因『奥州塩竈記』）

尾崎千佳

指導教員 磯部佳宏

深見知南

日本文学特殊講義（『平家物語』）

小野美典

指導教員 磯部佳宏

日本文学特殊講義（中原中也）

中原豊

古典文学における「怒り」をあらわす語彙について

隠塚真声

日本文学講読（村上春樹『回転木馬のデッド・ヒート』）

平野芳信

森野正弘

岩田典子

森絵都『永遠の出口』

尾崎千佳

指導教員 平野芳信

日本文学講読（『伊勢物語』『枕草子』）

尾崎千佳

吉本ばなな『キッチン』論

河野道子

日本文学演習（『世間胸算用』）

平野芳信

長野まゆみ『少年アリス』論

田中千尋

日本文学演習（明治以降の近代小説）

森野正弘

夏目漱石『こゝろ』論

中村久美子

日本文学演習（『源氏物語』）

尾崎千佳

川上弘美『センセイの鞆』論

宮里将太

日本文学演習（『大坂独吟集』）

平野芳信

夏目漱石『三四郎』論

百雲文香

日本文学演習（卒業論文演習）

森野正弘

芥川龍之介『藪の中』論

百雲文香

日本文学演習（卒業論文演習）

森野正弘

芥川龍之介『藪の中』論

百雲文香

指導教員 森野正弘

『源氏物語』における子ども

— 神話的イメージが生み出す幼稚性 —

『源氏物語』における呼び名の意義

— 人物の名がもたらす作用 —

『源氏物語』における花の表象から見る人物造型

『源氏物語』における宇治十帖の境界性

『源氏物語』における死生観と王権

源氏物語の物の怪の研究

— 憑霊現象における心理的考察 —

『落窪物語』における女君の自己形成

— 通過儀礼と親子関係を中心に —

『和泉式部日記』における「手枕の袖」の研究

『源氏物語』における夕顔の人物造形論

指導教員 尾崎千佳

『薄雪物語』の典拠

西鶴『万の文反古』における書簡体の意味

『西鶴諸国ばなし』における典拠の役割

『露殿物語』の表現と主題

『本朝桜陰比事』における御前の位置

『雨月物語』「浅茅が宿」における宮木像

西鶴『本朝二十不孝』の親子観

『心中宵庚申』における半兵衛像

相本知美

現海瑠美

白水愛

仁田原麻央

平野かおる

堀尾明日香

松本北辰郎

八尾美音子

柳井梨奈

一田枝里華

嘉戸麻衣子

河村茉季

高山恵

田中智子

古館亜佳里

増原結花

水島早貴

二〇〇九年度修士論文題目

日本語学文学論

指導教員 林伸一

「鬼」における強意的用法の発生について

「切れる」と「キレル」について

指導教員 磯部佳宏

コミュニケーション能力を育む国語科授業の構築

— 待遇表現を中心に —

日・韓国国の大学生が使用する一・二人称代名詞について

— アンケート調査の分析をめぐって —

李 勇

佐々木 翔太郎

李 暁娜

徳田 和世

執筆者紹介

相良和菜 二〇〇九年卒業
小野美典 一九八九年修了
高村正人 二〇〇九年修了
曲志強 二〇〇一年修了
林伸一 山口大学人文学部
佐々木翔太郎 山口大学大学院生
李曉娜 山口大学大学院生
今井新悟 山口大学留学生センター
磯部佳宏 山口大学人文学部

二〇〇九年度学会委員・会計監査

代表委員 林伸一

実行委員 磯部佳宏(庶務・編集)

尾崎千佳(会計)

佐々木翔太郎(院2)

委員 平野芳信 森野正弘

中原豊(昭56) 田中力人(昭59)

小野美典(平元院) 大田直子(平15院)

末裕昌子(平18院) 日高友江(平18院)

磯田里佳(3年) 池本泰子(3年)

成田静枝(3年) 橋田夏海(3年)

森近志穂(3年) 長嶺妙子(2年)

上本真巳(2年) 遠藤愛美(2年)

菊本千恵(2年) 濱田圭美(2年)

会計監査 奥嶋明子(平3) 吹屋葉子(平16院)

○編集後記

『山口国文』第33号をお届けします。今号は八本の論考を掲載することができました。いずれも力作ぞろいで、玉稿をお寄せいただいた方々に感謝いたします。

次年度の研究会発表会および総会は、五月九日(日)を予定しております。よろしくご参集ください。

なお、すでにご案内のとおり、本学会宛にご送付いただいております。また他機関発行の学術雑誌は、数年前より受入先を山口大学総合図書館に変更しております。今後ご送付いただく場合は山口大学総合図書館宛としていただくと幸いです。

「会員消息」欄への情報提供や、本誌および学会運営全般に対するご意見など、お寄せくださいますよう、お願いいたします。

『山口国文』編集部